

地域の中の地域とともにある学校づくりをめざして

【周防大島町 東和中学校区】

地域の概要

東和中学校区は、周防大島町の南部に位置し、自然環境に恵まれた地域で、農業・漁業が中心の地区です。また、道の駅や東和病院をはじめ公共施設も多く、東和地区の中心地でもあります。

古くは、長州大工として県外で活躍した先人が多くおり、また日本を代表する民俗学者「宮本常一」生誕の地でもあります。

地勢的には、大部分が山地で平地はごくわずかです。近年は、沿岸漁業やみかん栽培の不振による若者の町外への流出や、それに伴う高齢者の比率の増加が見られるように過疎地域の特徴が顕著に現れています。しかし、最近は、さつまいも東和金時の栽培や豊富な鮮魚等の特産物をインターネット販売やNPO法人による共同での販売等、地域産業の活性化が見られます。

平成 22 年度は、統合された東和中学校区の飛躍のために地域からの支援を得ることを目的とし、地域との連携を深めることや、子どもたちのために協働して教育を行うことをめざしてきました。

そして、平成 23 年度は、コミュニティ・スクールへの移行を念頭に、学校・家庭・地域のつながりを密にするとともに、さらに小中高連携事業にも力を入れて、地域にある人材・施設・環境を最大限に活用し、子どもにとって魅力のある教育活動を推進してきました。



人 口	19,514 人	
世帯数	10,343 世帯	
対象校及び 児童・生徒数	東和中学校	82 人
	城山小学校	60 人
	森野小学校	26 人
	和田小学校	12 人
	油田小学校	21 人
	島中小学校	35 人
	情島小学校	9 人

組織の内容

本地区では、学校と地域のかかわりを深め、その連携を一層強化し、双方の教育力を高めることをねらいとして、学校における様々な教育活動の中で、地域の教育資源や人材を効果的に活用するために学校支援ボランティア・サポーターを組織して3年目となりました。組織の発足以来、継続して運営に携わっている地域コーディネーターを中心として、地域全体で学校教育を支援する体制が整ってきています。

実施校	城山小学校		実施校	東和中学校	
学校支援	P T A 関係者	2 名	学校支援	P T A 関係者	4 名
地域教育	自治会関係者	1 名	地域教育	学識経験者	3 名
協議会の	社会教育関係者	2 名	協議会の	学校評議員	3 名
構成	学校関係者	5 名	構成	学校関係者	6 名
				地区住民	2 名
	コーディネーター数	1 名		コーディネーター数	2 名
	登録ボランティア数	45 名		登録サポーター数	35 名
活動 内容	・学習支援	○	活動 内容	・学習支援	○
	・環境整備	○		・環境整備	○
	・安全支援活動	○		・安全支援活動	○
	・学校との合同行事	○		・学校との合同行事	○
	・その他	○		・その他	○
	・部活クラブ活動支援	なし		・部活クラブ活動支援	○

その他の小学校では、各学校独自で学校支援ボランティアを招いて様々な活動を行っています。

主な活動の紹介

【学校支援地域本部事業】

〈城山小学校〉

1 安全の見守り

- (1) 登下校の見守り活動・・・見守り隊による活動を毎日交代で実施
- (2) 遠足時の補助活動・・・オリエンテーリングの際、各チェックポイントでクイズを出題
- (3) 校外学習時の補助活動・・・校区内でのフィールドワークの際、児童の安全見守りと学習補助
- (4) 校内持久走大会の補助活動・・・学校周辺の走路各所で児童の安全見守り

2 読み聞かせ

- (1) おはなしの会・・・毎月1回、朝学習の時間に読み聞かせの「おはなし隊」が、学級で「おはなしの会」を実施
- (2) おはなし隊新聞・・・読み聞かせで使った本とあらすじ等を掲載した「おはなし隊新聞」を発行

3 学習支援

- (1) 算数・・・1～3年生を対象に、毎月1回「ぐんぐんタイム」として算数の補充的内容の定着を図るための学習補助
- (2) 社会・・・周防大島町の歴史等の特色を学ぶための地域の歴史研究者による講話
- (3) 理科・・・天体の学習を深めるための星の観察に関する講話
- (4) 家庭科・・・高学年児童の手縫いやミシン縫いの指導補助
- (5) 生活科・・・昔の遊びについての指導補助や児童が育てたさつまいも料理
- (6) 総合的な学習の時間・・・元菓子職人によるさつまいも料理の指導
防災学習のため地域の神社や住民に聞き取り調査
食生活改善推進員による郷土料理の指導

4 環境整備

- (1) 通学路や駐車場の草刈り
- (2) 樹木の剪定
- (3) 花壇の整備

5 その他

- 地域の老人クラブと合同の交通安全教室の実施
- 華道家による生け花の指導
- 舞踊家による「周防大島音頭」の舞踊指導

〈東和中学校〉

1 学習への支援

- (1) 定期テスト前の質問教室
- (2) 長期休業中の補習
- (3) 11月以降の放課後の3年生補習の講師
- (4) 読み聞かせの講師
- (5) キャリア教育の講師

2 部活動への支援・・・卓球部や野球部のコーチ

3 環境整備への支援

- (1) 校舎内の一輪挿し
- (2) 樹木の剪定
- (3) グラウンドの整備

4 学校安全への支援

- (1) 登下校時にバス停、横断歩道での交通指導、あいさつ運動
- (2) 夏祭り等の地域行事での警備、生活指導

5 イベント企画

(1) オリンピック選手の講演会

部活参観・PTA企画の親子レクリエーション大会にあわせ、学校支援地域本部を主体としたオリンピック選手の講演会を開催しました。その際、地域の方や保護者が中心となって昼食バザーを行うなど、企画準備段階から、地域・学校・家庭が一体となって運営しました。

(2) チャレンジ！発見！！東和 I

身近にある大島の海で、日ごろ体験できないことにチャレンジすることにより、大島の良さを発見するとともに、たくましい精神を養うことを目的として1泊2日の日程で開催しました。

開催にあたっては地元のスキューバダイビングスクールの方々、天体観測のエキスパート、



オリエンテーリング



フィールドワーク



おはなしの会



生け花の指導



一輪挿しの活動

大島商船高等専門学校、広島経済大学、地元小学校教員、学校支援地域本部、PTAの連携のもと綿密に計画を立て、実施しました。



オリンピック選手による実技指導



大島商船による人命救助実技指導



スキューバダイビング

(3) チャレンジ！発見！！東和Ⅱ

心の優しさづくりを目的に、学校支援地域本部のコーディネーターの企画運営により、地元にある「たちばな園」での福祉体験活動を行いました。本校生徒、保護者、学校支援ボランティア等幅広い参加がありました。

(主な活動) ミカンむき作業、陶芸、ミカン狩り、園生との交流 等

【放課後子ども教室の紹介】

名 称	わだっ子クラブ	なぎさクラブ	カップスイミング
小学校区	和田小学校	森野・城山小学校	森野・城山小学校
実施場所	和田いこいの家	東和総合センター	東和中学校
開催日	月2回 水曜日	月1回 土曜日	7・8月 夏休み
登録人数	12名	35名	10名
コーディネーター	1名	1名	1名
学習アドバイザー	1名	2名	なし
安全管理員	2名	3名	4名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○キーホルダー・リース・紙飛行機などの工作 ○カヌー体験 ○消防署見学 ○クリスマス会・お別れ会 	<ul style="list-style-type: none"> ○さつまいも・トウモロコシ・落花生・かぼちゃの栽培と収穫 ○自分たちで収穫したものの料理 ○手作り楽器演奏 ○クリスマス会 	<ul style="list-style-type: none"> ○水泳の基本的な練習 ○ビート板を使った練習 ○ターン ○いろいろな泳ぎ方 クロール・平泳ぎ・バタフライ・背泳ぎ



キーホルダーづくり



クリスマス会



カップスイミング

- ・地域の自然や小規模校の子どもたち同士・地域の方とのつながりを生かした活動を行っています。
- ・楽しいだけに終わらず、考え、感じることができるプログラムの作成をめざしています。
- ・なぎさクラブでは、来年度、子どもたちが隣接する文化交流センターの指導で畑作業をし、収穫したものを料理したり、販売したりするなど、関係機関と連携した活動を行う予定です。

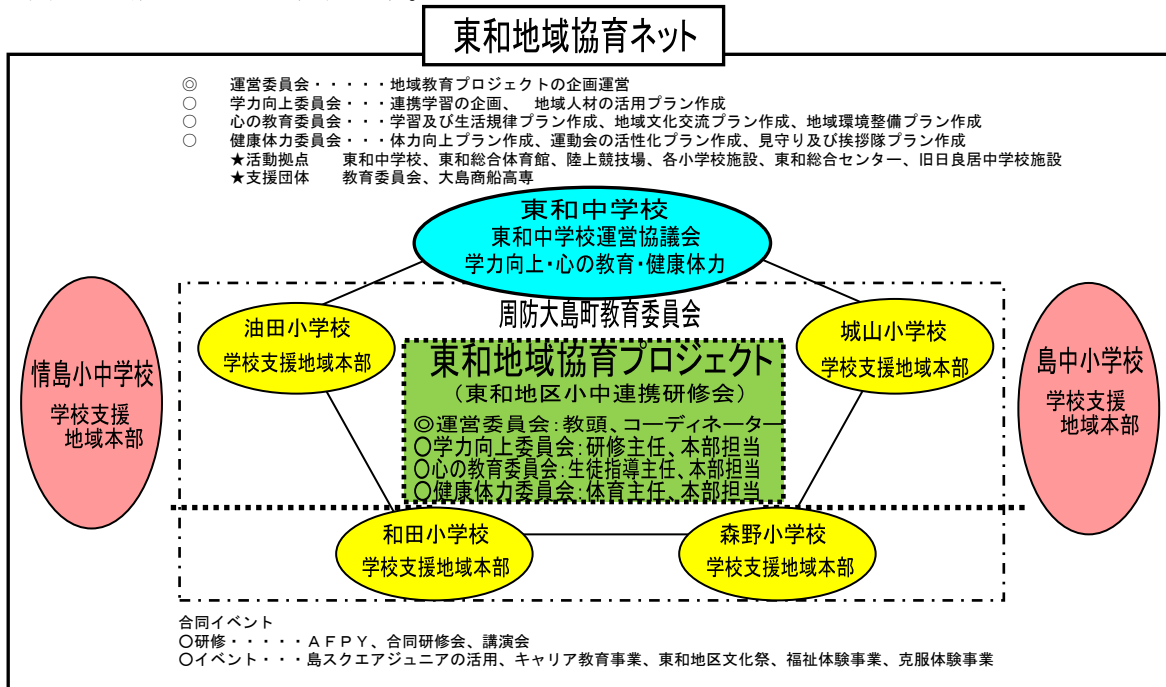
今後の取組

- 各小学校では、既存の学校支援体制を継続しながら、さらに地域の教育資源の掘り起こしや人材の有効的な活用を工夫していく必要があります。また、老人会や自治会とも連携しながらフィールドワークの機会を増やしたり、実施可能な地域貢献について検討したりしていきます。
- 地域と学校との関係を考える際、学校が地域の人材を活用するのではなく、学校を地域の方と子どもが交流し、ともに活動する場と捉え、互いの意識と活動を変えていく方向で事業が進められるよう、東和地域協育ネットづくりを進めます。
- キャリア教育において、「自立した島」の実現に向けて、どうしたら定住人口と交流人口を増やすことができるのかを考え、地域と一体となって古き良きものを継承しながら新しい価値観を発見し、ふるさとで学び、ふるさとを愛する子どもを育てていきます。

東和地域協育ネットの構想図

平成24年度から、東和中学校区の全小学校6校が学校支援地域本部事業を行います。小中連携を密にして東和地域協育ネットを確立し、運営方法や講師・サポーターなどの情報を共有してより一層地域とともにある学校づくりをめざして活動を実践していきます。

そして、これをモデルとして、町内の大島・久賀・橘地区にある中学校区において、地域協育ネットを推進していく計画です。



コーディネーターさんにインタビュー

Q：コーディネーターをされていてよかったと思われることは何ですか？

A：子どもたちやボランティアさんの生き生きとした表情を見ることができることです。

Q：改善されるとよいと思われることは何ですか？

A：人材の活用が広がるように授業の計画を工夫してもらおうとよいと思います。

Q：来年度、新たに実施してみたいと思われることは何ですか？

A：若者が10年後、15年後に、我がふるさと“周防大島”で暮らしたいと思える町づくりをめざし、地元企業と連携した活動をしてみたいです。例えば、「起業家教育」を念頭において、子どもたちのアイデアが特産物等の商品開発につながっていくようなことをしてみたいです。